

項目番号	15	項目	宿題の質・量の工夫と見届け
学校名	秩父市立花の木小学校		
タイトル	「共通音読カード」の工夫		

低学年用	音読カード	月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	めあて
読んだところ																			めあて ①口を大きくあけてよむ。 ②大きなこえでよむ。 ③すらすらつかえないでよむ。 ④「」を話すようによむ。
めあて																			
回数																			
評価																			
家の人の印																			

中学年用	音読カード	月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	めあて
読んだところ																			
めあて																			
回数																			
評価																			
家の人の印																			

高学年用	音読カード	月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	めあて
読んだところ																			
めあて																			
回数																			
評価																			
家の人の印																			

低・中・高学年別の「共通音読カード」を作成し、音読指導の徹底を図っている。めあてを明確にし、評価しやすいようにした。

家庭に配布したお願い

**「音読カード」記入の仕方等について（お願い）**

1 趣旨  
音読は、文章を理解する上で重要な事柄です。さらに、声に出して読むことは、話す場合や発表をする場面においても、基礎・基本となるたいへん重要なものです。学校では、機会あるごとに音読を取り入れています。学習効果がより上がるよう、ご家庭でも音読の練習をお願いします。

2 内容

- (1) 「読んだところ」に題名を記入します。
- (2) 「回数」は、その単元を何回読んだかで数を記入します。
- (3) 「めあて」は、カードの右側にある項目を選んで記入します。  
担任から指示があった場合は、その番号を記入します。
- (4) 「評価」は、◎たいへんよい ○よい △もう少し のいずれかで記入します。
- (5) 「家の人の印」は、原則としてサインとします。
- (6) 「評価」と「家の人の印」は、必ず家の人がします。
- (7) 休日は音読をしなくてもよいこととします。病気等で休んだときや、休日に音読をしなかった場合は、斜線を引きます。
- (8) 忘れたときは、空欄にしておきます。

【成果】 めあてを明確に示すことにより、音読への取組の意欲に高まりが見られた。また、家庭との連携を図ることもできた。